



広報

かつやま

4月号

No.598

Katsuyama City Newsletter

平成17年4月14日発行

勃興

いざり機(左)とボタン機(右)(ケイター資料館蔵)
明治38年の専売法改正により、たばこ製造業者の多くが機業に転じ、これら業者の資本と労働力により、勝山の機業は家内工業から本格的に成長を始めた。当時、これまで織機の主流となっていた「いざり機」に変わって導入された「ボタン機」により、これまでの織布の作業効率とその品質は劇的な変革を遂げ、今日ある「繊維のまち勝山」の礎を築き上げられた。その後、明治末期には動力で運転する力織機が主流となっていった。

CONTENTS

平成17年度のビジョン

議会報告

HOT話題

出会い、ふれあい